

電設新聞200号に寄せて

福島県電設業協会会長 大槻 博太



電設業協会は昭和32年に県内電気設備工事会社41社により会員の社会的地位の向上、経営の安定化、技術力の向上を目的に設立されました。以来、今年で満60年を迎えますが、設立時の思いは変わらず着実に歩みを進めています。

昭和54年に「協会だより」と題した電設業協会機関誌が発刊されました。当時の会長は吉田電工㈱の吉田惣七さん、誌面には懐かしい先輩諸兄の名が満載。第2号では相双支部の高木電気商会さんと青田電気商会さんの入会が報じられています。

今ではこれらの記事が、協会の歴史と当時の動向を知ることができる大事な資料となっており、手書きの誌面からは当時の安部茂事務局長の苦心の跡を察することができる素晴らしい協会資料となっています。

時は過ぎ、昭和60年に「協会だより」は尙福島タイムズ社の協力をいただき「電設新聞」として生まれ変わります。これは当時の会長、弊社大槻清が発刊あいさつの中で、われわれ協会は啓蒙宣伝活動に欠ける面があること、また、これを契機に電設業協会を諸官庁や建設関係業界により一層のご理解をいただくことを目的としていることを明確にしています。

その「電設新聞」も発行200号を迎えようとしています。先輩諸兄の苦労と夢を忘れることなく300号へ向けて会員諸兄のより一層の協力をお願いいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

福島県電設業協会副会長 佐藤 脩一



電設新聞が本年8月で200号を迎えるに当たり、思い出や今後の課題について書かせていただきました。まずは始めに書いておきたいことは電設新聞の発行前のことです。昭和54年6月、「協会だより」の第1号が発行されました。

当時の協会の安部茂事務局長が、協会の活動また会議の動向、消息、慶事など詳細に、それも予算の関係だったのか手書きによるもので、私にとっては非常に新鮮で毎月発行されるのが楽しみでした。

そしてその後、当協会も広報委員会が組織され、昭和60年12月より電設新聞第1号の発行になり、記事の内容も充実してきました。歴代の広報委員の皆様のご努力に対して御礼申し上げます。

さて200号の発行を迎えて最近感じていることは、他団体の広報誌を拝見すると当協会の広報誌は少し堅いように思います。私個人の考えですが、当協会初めての女性広報委員長が誕生したことですし、県内各支部の交流人口の拡大を目的とした自社近くの地味なレストランまたは穴場の観光スポット、イベントの案内など、ソフトな電設新聞になってもらえば良いのかと思っています。

今後の電設新聞は当協会の沿革ですので、その時々々の状況が次世代に語りつながれることを期待しています。

福島県電設業協会広報委員長 石川 格子



第200号の電設新聞、誠におめでとうございます。第1号（昭和60年）の電設新聞が発行される前は、手書きの協会だよりが発行されていました。協会HPでは、今でも第1号から閲覧することができます。

市場が変化するとともに、内容も変化してきた新聞は、時代の流れを感じさせてくれます。限られた方々にお渡しするのは、とてももったいないと感じておりますが、今後はさまざまな方に発信できるよう工夫していけたらという想いです。

最近では、「女性技術サロン」を第195・196号で取り上げ、座長を務めさせていただいたこともあり、とても思い出に残る記事となりました。業界でも時代によって、求められている仕事内容や人材に変化があり、協会ではそれらの情報交換の場としても大いに活躍しています。今後は、歴史を大切に継承しつつ、新しいことにもチャレンジしている企業や人材をどんどん新聞を通して紹介していけたらと思っています。

電設新聞200号

業界発展への原動力

30年以上にわたり情報発信

当協会の機関紙「電設新聞」が昭和60年12月の創刊から今年で200号を迎えた。県内電気設備工事業界の社会的地位向上と会員企業の技術力・経営力強化を目指す当協会の活動を30年以上にわたり外部に発信してきた。電設新聞の歩みを振り返るとともに、200号を迎えるに当たり、大槻博太会長、佐藤脩一副会長（前広報担当）、石川格子広報委員長に電設新聞の思い出、新聞が今後果たすべき役割などを寄稿してもらった。

電設新聞を発行する以前、動等を一層理解してもらうには、昭和54年6月からおと、昭和60年に機関紙発行の準備に着手。広「協会だより」を発行していた。当時事務局を務めた安部茂氏が手書きで業界の動き、活動内容を記し、役員から好評を得ていたが、外部への啓蒙宣伝活動強化し、官公庁や建設関係業界に当協会の活動内容を充実させ、多く

の皆さんに親しんでいた。だくとも、電気工事業界発展の原動力的機能を発揮していきたく」とあいさつ。松平勇雄県知事は祝辞の中で、豊富な情報の提供により電設業界の発展、近代化が推進されることに期待している。トップ記事は県立博物館建設工事の現場研修会。技術力向上を重視する協会のスタンスが見て取れる。その後は、現場研修会以外にも、他業界に先駆けて取り組んだ施工体験発表会や先進地視察調査、県土木部管轄課との

座談会、同課担当職員との技術研修会意見交換会などを紙面で紹介。関係法令・制度の改正内容や新技術の概要等も掲載し、「信頼される技術集団」を目指して技術研さん、経営力強化に努める協会の姿を発信してきた。このほかにも、電設業の社会的地位の向上を図るべく、地元企業の受注機会確保や分離発注の推進など、その時々々の課題とそれに対応した活動内容を掲載。「道の日」清掃作業、インターシッピング受入事業などの社会貢献



表彰を受ける風電気工事(左)

第51回県建設業労働災害防止大会が7月27日、福島市の県建設センターで開かれ、労災減少・死亡災害絶滅に向けて、関係者が決意を新たにしました。英人さんが同・功績賞(職長)を受賞した。28年度安全競争は、電機が建設業労働災害防止協会県支部長賞・優良賞(会社)に輝いたほか、同社の平間文昭さんが同・功績賞(安全衛生推進者)、大栗守正さん、加藤英人さんが同・功績賞(職長)を受賞した。



発行所
(一社)福島県電設業協会
発行人 大槻 博太
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設会館)
TEL (024) 533-6226
FAX (024) 533-6235
E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp
編集印刷 福島建設工業新聞社
福島市西中央2-59

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

際立つ明るさ
驚きの高効率
T.LEDs

E-CORE
高効率LEDダウンライト【E-CORE】

際立つ明るさ	驚きの高効率	抜群の施工性
265lm	50lm/W	電圧変動17%

東芝ライテック株式会社
http://www.tli.co.jp/
郡山営業所 TEL(024) 922-5511

活動、担い手確保・育成に向けた取り組みも掲載し、石川委員長の寄稿文を左欄に掲載

Panasonic

美しいLEDの光を、多彩なスタイルで選ぶ。

一体型LEDベースライト
iDシリーズ

Panasonic LED



Wonders! by Panasonic
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 北海道・東北電材営業部 福島電材営業所 〒963-8024 福島県郡山市朝日2丁目5番15号 TEL.024-939-7731

熱中症対策など再認識

大会大研修会 安技研 設備協 再・省エネ指針に理解

県総合設備協会は6月30日、郡山市のビッグパレットふくしまで今年度安全大会・技術研修会を開き、熱中症予防対策など安全衛生管理の重要性を再認識したほか、県の設備工事検査のポイントや再エネ・省エネ推進建築整備指針などについて理解を深めた。



事業協会の会員計140人が出席。県総合設備協会理事の八巻正隆当協会副会長・技術・安全委員会担当が「安全確保の意義を再確認し徹底を図る良い機会。関係者が力を合わせて災害防止活動に取り組む、快適な職場の形成や企業の安全水準向上等を図ってほしい」と訴え、技術研修会でのレベルアップも求めた。

安全大会では、高橋貴大福島労働局労働基準部健康安全課安全衛生係長が「全国安全週間と夏季における労働災害の防止について」と題して講話。全国安全週間の実施事項として①経営トップによる安全への所信表明②職場の安全総点検③緊急時対応の必要訓練④安全総点検で普段の作業を見直すなど、安全意識の高揚を図ってほしいと呼び掛けた。

夏季の防災防止対策で安全意識の高揚と技術力の向上を図った大会・研修会(上)と安全宣言する高野さん

は、3年連続で死亡災害が発生している熱中症に注意を促し、具体的な対策を説明。災害防止に効果的な日常活動として5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)活動を挙げ、特に「しつけ」については「管理者、先輩が率先して行動することで職場のルールとなる。各社で安全文化を築いてほしい」と訴えた。

会員を代表して広栄電設の高野和志設計監理部長が安全宣言し、全員で今年度全国安全週間スローガンを唱和した。技術研修会では、橋昭一県出納局工事検査課専門工事検査員、遠藤英典県土木部営繕課専門電気技師が講話。橋検査員は28年度設備工事検査結果に基づき、検査のキープポイントなどを解説し、メーカーの施工要領書等の再確認などを求めた上で「やるべきことを適時

適切に処理して、安全な基準を満たしていることを写真等で証明してほしい」とアドバイスした。

遠藤技師は、今年度受託営繕工事の主な設備工事と、5月に策定した県再エネ・省エネ推進建築

物整備指針の概要を説明。指針については夏ごろ開催予定の説明会への参加を呼び掛けた。

前年度と比べ19人の増。アンケート調査には80人が回答した。回答率70%。職場環境や作業内容の理解度に関する質問では85%が「理解できた」、15%が「ほぼ理解できた」と回答。将来の進路選択の参考となったかどうかの問いに対しては86%が「参考になった」、14%が「だいたい参考になった」と答えた。

ほぼ全員が「やってよかった」

28年度インターンシップ

現場作業など実習望む声

当協会は、28年度に会員企業でインターンシップ(就業体験学習)を行った高校生等へのアンケート調査結果をまとめた。将来の進路選択の参考となるなど、ほぼ全員が「

インターンシップをやって良かった」と回答したほか、現場作業などの実習を希望する意見もあった。

アンケート調査には80人が回答した。回答率70%。職場環境や作業内容の理解度に関する質問では85%が「理解できた」、15%が「ほぼ理解できた」と回答。将来の進路選択の参考となったかどうかの問いに対しては86%が「参考になった」、14%が「だいたい参考になった」と答えた。

インターンシップは「やって良かった」が96%、「やや良かった」が4%と好評だった。将来の進路選択の参考となった生徒は35%にとどまった。インターンシップで希望する研修内容では、見学よりもCADや現場作業などの実習を好む傾向があった。研修期間が短いと感じる生徒も多かった。

「参考になった」、14%が「だいたい参考になった」と答えた。

代表者変更

クレハ電機株

代表取締役社長
影山日出夫



出身地／いわき市
生年月／昭和34年11月
趣味／ゴルフ・読書
今後の目標／今年6月に田口前社長の後任として代表取締役を拝命しま

した。この大役に改めて責任の重さを感じております。建設業を取り巻く環境は、復興・復旧需要も終焉を迎え、予想され、官庁工事から民間工事にシフトし、震災前の建設業本来の厳しい競争環境が待ち受けると思われま

かす迅速に対応することが問われてきます。当社は、安全労災事故0・設備事故0(品質)クレーム0を実践しながら、事業の体質強化を図るために、具体的課題に

取り組む、電気工事専門業者として、『お客様から信頼される会社』

代表者変更

(株)ジェイ・ケイ リアルタイム



出身地／いわき市
生年月／昭和27年8月
趣味／ソフトテニス

座右の銘／情・義・礼
今後の目標／3社会併

から5年を経過する中で、重責を担う立場を拝命しました。震災後の復興におきましては、少しでもありま

すが落ち着き感も見え始めています。収益基盤の強化が社会貢献、社員および家族の幸福につながると思っております。一層奮闘いたします。

協会のうごき

(本部の主な行事)

- 【6月】
 - 2日～4日 1級電気工事施工管理技士受験講習会(学科コース)(県南電気工事協同組合会館)
 - 12日 第3回理事会(協会)
 - 30日 総合設備協会平成29年度安全大会・技術研修会(ビッグパレットふくしま)
- 【7月】
 - 11日～13日 郡山支部インターンシップ
 - 15日 変更契約説明会(三浦電気工事株)
 - 29日 変更契約説明会(三浦電気工事株)



電気設備の総合メンテナンスは当協会に!

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

一般財団法人 東北電気保安協会

- | | | |
|--------|----------------------|-----------------|
| 福島事業本部 | 福島市矢矧町1-22 | ☎(024)526-1311 |
| 福島事業所 | 福島市矢矧町1-22 | ☎(024)526-2111 |
| 原町事業所 | 南相馬市原町区上流佐字原田432-1 | ☎(0244)22-3568 |
| 郡山事業所 | 郡山市富田町福川原1 | ☎(0248)932-6054 |
| 白河事業所 | 白河市十三原道上3-51 | ☎(0248)22-6066 |
| いわき事業所 | いわき市好間町上好間字洞42-1 | ☎(0246)36-1177 |
| 若松事業所 | 会津若松市町北町大字上荒久田字村北147 | ☎(0242)32-3350 |
| 田島事業所 | 南会津郡南会津町田島字南下原66-1 | ☎(0241)62-4847 |

電気使用安全月間

2017年8月1日～31日

平成29年度重点活動テーマ

- ・日頃から電気的安全を心がけ、かしこく上手に使いましょう
- ・自家用設備の電気事故は、適切な保守点検と計画的な更新で防ぎましょう
- ・地震、雷、風水害などの自然災害にそなえ、日頃から電気的安全に努めましょう

高品質で省エネ — LEDランプはレディオック

LEDiOC



岩崎電気株式会社 郡山営業所 〒963-8046 郡山市町東3-103 TEL:024(961)2292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

株式会社 トベ

宮城県岩沼市押分字南谷地86-5
TEL(0223)25-6701

- | | | |
|---------|------------------|-------------------|
| ■福島営業所 | 福島市瀬上町字桜町3-12-3 | ☎(024)553-8551(代) |
| ■福島西営業所 | 福島市大森字街道下57-1 | ☎(024)544-6228(代) |
| ■郡山営業所 | 郡山市安積4-277 | ☎(024)937-2462(代) |
| ■原町営業所 | 南相馬市原町区北原字本屋敷153 | ☎(0244)23-6106(代) |
| ■相馬営業所 | 相馬市椎木字北原104-1 | ☎(0244)35-6350(代) |
| ■いわき営業所 | いわき市鹿島町御代字大一田1-1 | ☎(0246)76-1055(代) |

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社 東北支社

- | | |
|--------|------------------|
| 福島支店 | |
| 福島営業所 | TEL(024)553-4165 |
| 郡山営業所 | TEL(024)934-3065 |
| いわき営業所 | TEL(0246)75-0700 |
| 檜葉営業所 | TEL(0240)23-6155 |

一賛助会員募集一

(一社)福島県電設業協会は、顧客に高性能・高品質・高効率な設備のトータルシステムを適正価格で提供することで新しいニーズを掘り起こします。

【賛助会員の特典】

- ・機関紙をはじめ各種広報資料をお送りします
 - ・毎年発行する「会員名簿」に社名を記載します
 - ・名刺等の肩書きに賛助会員の表示ができます
- ※詳しくはホームページをご覧ください

